

評価項目	チェック項目	自己評価	備考
1-1 保育・教育内容			
1 全体的な計画の編成	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身やの発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している	(A)・B・C・D・E	
2	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	(A)・B・C・D・E	コロナ禍での生活も2学期より、年令に応じては自ら健康を
3	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状況に応じた保育・教育を行っている	(A)・B・C・D・E	考慮の行動や姿勢も見られ、度々
4	子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている	(A)・B・C・D・E	心配や不安も感じているので、
5	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活とあそびを豊かにする保育・教育を展開している	A・(B)・C・D・E	体、あにたのちをまよわし、
6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	関わりなども大切にした、
7	環境を通して行う保育、養護と教育の一体的	(A)・B・C・D・E	3歳児未満(1, 2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している
8	3歳以上児の保育・教育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	3歳以上の保育・教育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している
9	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している
10	長時間にわたる保育・教育のための環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	長時間にわたる保育・教育のための環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している
11	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育・教育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	(A)・B・C・D・E	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育・教育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している
12	子どもの健康管理を適切に行っている	(A)・B・C・D・E	子どもの健康管理を適切に行っている
13	健康管理	(A)・B・C・D・E	健康管理
14	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	(A)・B・C・D・E	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている
15	食事を楽しむことができるよう工夫をしている	(A)・B・C・D・E	食事を楽しくすることができるよう工夫をしている
16	子どもがおおしく安心して食べることができる食事を提供している	(A)・B・C・D・E	子どもがおおしく安心して食べることができる食事を提供している
1-2 子育て支援			
17	家庭との緊密な連携	A (B)・C・D・E	家庭との緊密な連携
18	保護者等の支援	A・(B)・C・D・E	保護者等の支援
19	発見・早期対応及び虐待の予防に努めている	(A)・B・C・D・E	発見・早期対応及び虐待の予防に努めている
1-3 保育の質の向上			
20	保育士等が主体的に保育・教育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育・教育実践の改善や専門性の向上に努めている	(A)・B・C・D・E	保育士等が主体的に保育・教育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育・教育実践の改善や専門性の向上に努めている
1-1 保育内容	一人ひとりが安心して自己を発揮し、より生活できる、人的・物的環境の振り返りを定期的に行っている。後半は、新年後への取り組みも意識し、日々の遊びや活動が深まってくる、援助の工夫を工夫した。	1-3 保育の質の向上 振り返りについて、保育の中を生かして、課題に気づき所修やモニタリングやフィードバックの共有を促している。自身一人ひとりの自己評価も、園としての課題も共有し、向上に努める。	一人ひとりが安心して自己を発揮し、より生活できる、人的・物的環境の振り返りを定期的に行っている。後半は、新年後への取り組みも意識し、日々の遊びや活動が深まってくる、援助の工夫を工夫した。